

0150 | 色彩学

4 単位 (通信授業 4 単位)

島森功講師、江森敏夫講師

授業の概要と目標

色彩学は英語では Science of Color といい、光学や生理学、心理学などの学問との関連が深く、“学際的”であるのが特徴である。学生の中には「色の勉強など必要ない。経験だけで十分だ」と考えている人がいるかもしれないが、「色とは何だろう?」という疑問に答えられる人はきわめて少ない。

本講では、この疑問に答えるのに必要なさまざまな知識を学ぶ。たとえば、「色は光である」、「色は目ではなく脳で見えるものである」、「色は情報である」、「色は数式で表せる」、「色は感情を操る」等々。そのために教科書を精読し、4つの課題に取り組んでもらう。そして、通学生なら教室で聞き流すところを自分の目と手足を使って確かめ、その成果を報告してもらおう。これにより、色に対する理解が深まり、色による表現力が向上することを期待したい。

課題の概要

○通信授業課題 1

白から黒までの見た目に等間隔のグレースケールを作成する課題。

○通信授業課題 2

スーラによって編みだされた点描画法について研究し、自画像(顔)を描く課題。

○通信授業課題 3

色の対比と同化について教科書で学習し、この2つの現象を踏まえたブックカバーのデザインを行う課題。

○通信授業課題 4

色(赤や青など)の連想を調べ、教科書のデータと比較・検討する課題。

*課題については学習指導書『造形文化科目・教職に関する科目 平成29年度』を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

教科書のすべての章を学習する。

色の世界の成り立ち／色の表し方／混色の原理と応用／色の感覚的・知覚的作用／色の認知的・感情的作用／色の美的作用

成績評価の方法

提出課題の評価による。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1~4年次

[履修条件] なし

[備考] 履修年次は問わない。但し、1・2年次に履修することが望ましい。

教材等

教科書：千々岩英彰『色彩学概説』(東京大学出版会 2001年)

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 平成29年度』

(武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017年)

その他

各課題レポートの提出順序は特に定めない。ただし、ひとつの課題レポートが返却されるまでは、次のレポートを提出できない。